



いこいスペース∞こあ まるちゃん家新聞

一緒に作ろう♪ 食べよう♪ 遊ぼう♪ 学ぼう♪

内閣府 子供の未来応援基金 第5回未来応援ネットワーク事業助成金事業

2022年 3月 第4号
文責 木原成美

↑ホームページ

フードパントリーを中心に、できることを全力で♪



地元企業様からの応援の品々



企業さんからボランティア応援



ボランティアさんによる調理



世帯ごとに仕分け



お渡し♡

一昨年年末から昨年九月末まで緊急事態宣言が熊本県下に発令。終息しそうになっても第六波が訪れ、今回は天草管内にも新型コロナウィルスの感染拡大の影響がでています。幸いにも公共施設が今年度は使用できていますので、調理は休むことなく実施できています。

ただ、会食は感染対策の徹底が難しく、共催して頂いている星光園地域支援センター内での「まるちゃん家」本来の活動はできていません。

「今年一月からは出来るかも!」と思った矢先にオミクロン株が拡大。今年度の会食は厳しいです(泣)。一昨年八月に「せめてパントリー活動だけでも継続していけるように!」と一軒家を借りたので、その一軒家にて本渡北地区コミュニティセンター内で調理したご飯(お惣菜含む)とフードバンク熊本様、

「今年一月からは出来るかも!」と思った矢先にオミクロン株が拡大。今年度の会食は厳しいです(泣)。一昨年八月に「せめてパントリー活動だけでも継続していけるように!」と一軒家を借りたので、その一軒家にて本渡北地区コミュニティセンター内で調理したご飯(お惣菜含む)とフードバンク熊本様、

「森の学校 ばれっと」さんとコラボして「野外で遊ぼう! スーパーボール・金魚すくい・シャボン玉・そうめん流し体験」fujikomaema先生の「クラフト教室」で入れ物作り。今回二回目になります。北九州市の大学生とコラボ企画で「夏を挽回! 秋祭り! 縁日を楽しましもう!」感染予防を徹底して食事作りや段ボールでフレイム作りを体験。困りごと等の相談やコロナ禍のストレスを発散できるようにと人数限定しながらでしたが親子さんにとって「体験が自信になる活動を実施できて良かったです。三月中には郷土料理の「せんだご汁」作りを永田様に依頼。タコ焼きとお好み焼作りも実施予定です。

お家でも作れるようになるというなど思っています。毎週の受け渡しは孤立や籠りがちになっていかないうち、お弁当や食材を渡すだけの活動で終わらないようパントリー時にはできる限りのお声掛けと「傾聴」を意識して行きました。更に、「NPO法人いるか」さんとの「マナビバ」連携事業を毎週木曜日に実施。午後四時からオンライン授業にて学習サポートの活動を強化しました。今回のまるちゃん家新聞にて、これらの活動の感想を紹介させていただきます。「できない!」ではなく「今、何が出来るか!」「どうしたら出来るか!」コロナ禍でいろんな気づきを頂きました。見えていなかったことが表面化されてきました。「子ども達を真ん中に!」地域全体で取り組めたらと願っています。

まるちゃん家単独パントリー延べ件数と人数 2021年度4月1日~1月26日まで
回数: 36回
お渡し実績: 1479世帯 (大人1,707人 子ども3,428人)
ボランティア参加者数: 931人
食材・寄付の支援件数: 501件 (企業団体350件 個人151件)

他団体連携パントリー 2021年度4月~1月26日まで
回数: 48回
お渡し実績: 1872世帯 (大人2,160人 子ども3,816人)

まるちゃん家に来れないご家庭へは主任児童委員さんや子育て支援課相談係、社協さんと連携しお渡ししています。

マナビバ教室 毎週木曜日開催中

マナビバとは?
福岡のNPO法人いるかさんと連携して行う、オンラインの学習支援事業♪小中学生を対象に、学習習熟度に合わせた個別指導を行います。基本的に学校で使用されている教材を利用して、授業を実施しています。まるちゃん家では、毎週木曜日に今釜新町のまるちゃん家ホーム：フードパントリー会場・学習自立支援拠点で実施中です。2022年の4月より、学校に行けないなどのお悩みを抱えるお子さんなどにも利用していただけるよう準備をしていきたいと思っています。

スタッフより

昨年の3月に始まった、マナビバ教室。もうすぐ1年を迎えようとしています。

福岡のマナビバ教室とまるちゃん家の共同事業ということで、オンライン学習支援の教室スタッフをさせていただき、子どもさんの成長と一緒に感じられる、大変素晴らしい機会を与えていただきました。

それは、子どもさんお一人お一人の成長であって、自分の夢に向かって行動を始める子どもさん、対人関係の克服にも向き合われる子どもさん、受験に向けて勉強に取り組まれたり、行けなかった学校に少しずつ行けるようになったりなどと、様々です。

オンライン上の講師の先生方も協力的な姿勢の方ばかりで、熱心な勉強の指導はもちろん、子どもさんの心理に寄り添い心のサポートもしていただきます。

これからも、オンライン講師の先生方をはじめ、保護者様、教室スタッフで協力し、『大人が子どもさん見守り、応援しているよ』という、まるちゃん家の温かい家族のような教室である一員として、全力でサポートさせていただきます。 スタッフK.M

「マナビバに参加するようになって」中1の娘を持つ母です。娘が不登校になったのは小学六年生の時からで、一年半になります。元気で勉強も頑張っていた子供が、学校へ行かない、習い事も全てやめる、友達とも遊べなくなる姿に「何?!」私も夫も訳がわからない日々が続く、疲弊しきってしまいました。周りにある頼れる全ての機関に関わり子供のサポートに取り組みました! そのおかげで、子供の状態や親の心構えも学びやっと日々の生活を送れるようになってはきましたが、やっぱり親として、健康な子供が毎日家にいるのは辛い心配でした。

そんな時に知人から紹介して貰った「まるちゃん家のマナビバ」どこへも行きたがらない娘が、見学に行った翌週から続けて通うようになりましたホントにホントに嬉しい限りです。

マナビバへ通うようになり、気持ちが前向きになってきて、自分のやりたい事をやり始めました。ながーく動けなかった娘が、少しずつ自分を取り戻し、前に進めるようになってきたのも「まるちゃん家スタッフ、マナビバスタッフの優しく、子供に寄り添う支援」のおかげです!! 私みたいに苦しんでいたママに「自分の居場所マナビバ」を伝えていきたいです。 保護者様

分かりやすく問題も解きやすい。ここにきて前よりもテストの点数が上がったから良かった。個人で教えてもらえるから質問がしやすい。 Iちゃん

先生はとてもやさしくて、わからない漢字や計算があっても分かりやすく教えて下さったり、わかるまで熱心に教えてくださるのでうれしいです。 Mちゃん



ボランティア募集
子どもたちと関わっていただける方々のご参加大歓迎です!
調理、お勉強、運搬、遊び、農園などできる事何でも色々あります! お気軽にスタッフにお声かけください。

令和4年度に天草管内にフードバンクを立ち上げ予定♡
「もったいない!」を「誰かのありがとうに♡」を合言葉に♪
「オールあまくさ♡」
フードパントリー活動へ

亀場町に「いこいスペース∞こあてとてと」佐伊津町に「一般社団法人あまりんぐ」「森の学校 ばれっと」さんも子ども食堂活動中♪

企業名食材寄付 支援金寄付 協賛店 会社・個人名報告一覧は ホームページ・Facebookにてご紹介しています

北九州の大学生とコラボ☆交流会 子ども食堂ネットワーク北九州学生会県外研修事業で4つの大学の学生さんが天草へ！

2021年11月13日14日に、北九州の大学の学生さんとのコラボ企画で天草の高校生ボランティアにも協力してもらい、勉強会やお楽しみイベント、制作体験会を開催しました。



感想 (スペースの都合で一部のみの掲載です)

子ども達 ・コロナであまりイベントをすることがなかったけどみんなで仲良くできてよかったです。鬼ごっこもたのしかったです。大学生のみなさんと一緒に、料理をした時に、明るくなるように、とても優しく接してくださってとてもうれしかったです。市民センターでやった秋まつりで、かたぬきやおかしとり、ヨーヨーつりなど、私たちが楽しめるようにしてくださってとても嬉しかったです。今度は私たちが、何かしてあげたいと思いました。

高校生 ・将来子供と関わる仕事につきたいと思っているので、このような良い体験ができて良かったです。みんな元気がかわいくて楽しかったです。ありがとうございました。

保護者 ・短時間ですが、子ども達を喜ばせよう、一緒に楽しもうという気持ちが伝わってきました。娘の楽しそうな笑顔が忘れられません。また天草に来てほしいです。

大学生 ・今回の研修を通して身近な場所でなく、地域をはなれてやることで違うことを感じる事ができていい貴重な経験になった。天草の子ども達はみんな笑顔で楽しそうでした。また、ぜひ一緒に楽しみましょう！

・小さい子とふれあったり、ヨーヨーをついたり、普段できないことができて楽しかったです。調理の手伝いや子どもと遊ぶことができてとても楽しかったです。普段あまり調理をしないので不安だったけどちゃんとできたので良かったです。また参加したいです。

・いつも美味しい食事や交流をする機会を作って頂きありがとうございます。いつか私も子ども達も年月がすぎたら、ボランティアをする側になりたいと思います。ありがとうございました。

・2日間とても充実して自分自身色々なことを学ぶことができたと思います。子どもたちとの触れ合いを通してたくさんの経験ができてよかったです。本当に楽しくて普段あまり話さない子供たちと色々な話ができてうれしかったです。遊びや準備した企画が成功した時子供たちと触れ合うことがこんなに達成感というかやりきった感を感じることができて自分自身少しは成長できたんじゃないかと思っています。

夏休み☆そうめん流し体験♡

2021年7月に、そうめん流し会を開催しました。

感想

・家でするとなると大掛かりでなかなかできないそうめん流しなので、参加させて頂けて嬉しかったです。

・竹でのそうめん流しは、なかなか体験させられないので有り難かったです。

・まるちゃん家の方々も皆さん優しく初めての体験だったけど行ってみて良かった。

・子ども...最初は流れてくるのをとるのが難しかったけど、楽しかったです。金魚つかみとシャボン玉、スーパーボールすくいも楽しかったです！

・親...私自身は、おかずのレシピを覚えてもらえて嬉しかったです。



体験イベント開催！

美味しいお野菜収穫体験♪

2021年5月、6月にじゃがいも、玉ねぎの収穫体験をしました。

収穫したお野菜は調理でおかずに変身♪ 残りはパントリーでお渡し♪



クラフト制作体験☆

2021年11月に小物入れのクラフト制作体験を行いました。

参加保護者の感想

子どもの年齢に合わせて細かい準備をして下さり、子どもたちも楽しく参加させていただきました。帰宅後すぐに、夫や従兄弟に自慢し、とても嬉しそうでした。いつも見えるところに置いて大切に使っています。ありがとうございます。

講師のこぼ

クラフトパントリー講座を開催して、高学年には少し物足りないかもしれないけど、今回はちっちゃい子どもたちに標準に合わせてキットの準備をしました。それでも時間がいっぱい教えてくれる方としては余裕が無かったです。でも完成したペンギンやうさぎはそれぞれ個性がありみんな笑顔で癒されました。企画してくれた松田さんをはじめお手伝い頂いたスタッフの皆さんありがとうございました。



まるちゃん家開放DAY！



自分達で作ったおにぎり♪

夏休み期間中、子ども達に楽しい時間を過ごしてほしいと思い開放DAYを行いました！

開放DAYをお手伝いいただいたスタッフT.Mさんより

木原さんから「昨年の夏休みから軒家を借りることができ、子供達に開放する事が出来るので一緒にお手伝いしていただけないか」とお話を頂きました。私事ですが以前子供達と関わる仕事をしていたせいか、迷いもなく二つ返事でお受けさせて頂きました。お受けしたものの不安でいっぱいでした。しかし来てくれた子供達がとても良い子で、すぐに打ち解けてくれました。部屋も消毒・ソーシャルディスタンスなどよく考えられてあり、とても心地よく過ごせました。コロナ禍で2回切りで終わってしまったのですが、残念でたまりませんでした。子供達が人の繋がりを大切に思っている事を知る事が出来ました。子供達をお世話するのではなくいつの間にか子供達からお世話してもらっていました。テレビでよく耳にします。学校に行こうと思っても行けない子が沢山いらっしゃいます。そんな子供達が半歩でも一歩でも学校に行きたい気持ちになってくれたら私はとても幸せな気分になります。子供達が心の扉を開けてくれる場所があるという事を沢山の親子さんに知っていただきたい。子供達のことを一番考えてくれる。そんなまるちゃん家のスタッフさんにありがとうと感謝です。これからも皆さんで助け合って頑張ってください！

木原のつぶやき

「まるちゃん家」あつという間に今年の3月21日、5年目に突入です。2年目の後半にコロナ禍に。ピンチをチャンスに変えることでコロナ禍でも活動できていること。仲間達や支援していただいている方々の存在のお蔭様に感謝の気持ちでいっぱいの毎日です。

「当たり前は何一つ無い」コロナ禍だけでなく自然災害等からも沢山の気づき、学びがありました。まるちゃん家は2019年4月～2022年3月の3年間、内閣府の子供の未来応援基金の助成金を得ることができました。コロナ禍の中でも中止にすることなく運営ができたのはこの助成金を運ぶ採択されていたからだと思います。4月からはこの助成金無しでの活動になります。なので物販をしたり運営資金の確保に向けて計画中です。立ち上げ時、天草に「子ども達の居場所を作りたい」と勉強の為、他県も含め実際に運営されている所へ視察に行っていました。継続していくには「資金・場所・人」の確保が課題になる。「最初は良くても維持ができなくなって止めることになる」と視察先の代表者の方々の共通の声。まるちゃん家も「踏ん張りどころ」の年になると思っています。「もったいない！」を「誰かのありがとうに♪」食品ロスの削減 (SDGsの取り組み)にも繋がるので「フードバンク」を天草にもという思いがあります。コロナ禍が落ち着いて本来の活動に戻れた時、まるちゃん家に來る親子さんと來れない親子さんがいます。本中校区だけでなく校区外の地区の親子さん方の対応もしています。その方々へのサポートを継続できるようにするためにも、フードバンクを立ち上げることでフードパントリー活動が天草全域で取り組めると思っています。この取り組みが各町(旧市町村)にあると、高齢者の1人暮らしの方々や地域サロン等にもサポートができます。天草は広範囲。それぞれの地域の公民館等にてフードパントリーができるとご近所さん達と「食をきっかけにしたコミュニケーションの場」にも発展すると思います。地域のコミュニティ作りも強化が必要と感じていますので、多世代交流の場となり其々の地区の伝承活動も可能にしていけると思っています。先日、持病を患っているシングルマザーの方が、「もし私に何かあったら

この子はどうなるかと思うと死んでも死にきれない。」県外から嫁いで來られた方だったので頼れる人、お願いできる人がいないとおっしゃっていました。「だからこそ、ご近所の方々と顔見知りになるの大事だと思う。」「顔見知りになってたら何かあった時、〇〇君を見守ることができるけん!」「まるちゃん家があるけん!」「お父さんが自分で自分の事ができるようになるよう、色々な事ができるように体験、経験させていこうよ!」お母さんは涙を流して「うん。うん。」と頷かれていました。

「気に掛ける。微笑みかける。声を掛ける。」3つの振り掛けと「目配り・気配り・心配り」の輪を天草いっぱいにと願って皆さんのお力をお借りしながらできることで動いていきたい。子どもを産み育てやすい天草にしていけないと少子化は止まらないと思います。10年先、20年先の天草を見据えて、今、動いていけるとゆくと「納税者が居なくなる。」若者達のいない天草になっていく。「地域で子育て♪」これが後々、天草を支える子ども達の誕生に繋がると思っています。否、繋げる為に必要だと思います。自分を見守ってくれた町に、自分を育ててくれた町に「恩返し」「恩送り」のご縁のめぐりと思うのです。自分の今いる場所で「できることを・できる時に・できる人たちで・できたらこ♪」人生の先輩方のお力添えが必要で。応援していただけると心強いです。また、私達の活動は2つの目的があります。「地域活性化・地域多世代交流拠点」と「ひとり親世帯の親子の見守り・サポート」。このひとり親世帯の親子のサポートに対していろんなご意見をいただきます。どうか温かく見守っていただけると幸いです。誰も子どもだった頃があります。子ども時代があり親に育てられています。子育てって自分が育ってきた環境がベースになると思います。テレビで事件になっている虐待のニュースも然り。この親達が子どもの時にどういう環境で育ってきたのか。そう思うと「親を責めても解決にはならない。」地域で家庭を見守る事が一番ではないか。毎年、児童養護施設訪問の際に、「子どもに罪はない」という思いにつきます。温かい子育て環境を地域で作れたらという想いの原点です。